



備中国分寺周辺のれんげ畑
(総社市)

れんげまつり だいすき

「うわあ。おはなの じゅうたんだ。」

きょうは、れんげまつりの ひです。

のんちゃんは、かぞく みんなで

ごじゅうのとうの みえる ひろばに

やって きました。

あおい そらと ピンクの れんげ。

おひさまも ぽかぽかして とっても

いいきもちです。

のんちゃんは、おとうとの ゆうくと

れんげばたけに はしって いきました。





「わたし、はなたばと かんむりを つくろうっと。」

ゆうくんは、れんげばただけ ねっころがったり ぴよんぴよん
はねたりして おおよろこびです。

「おかあさんも なかまに いれて。」

おかあさんも にこにこして います。

「おとうさん、みてみて。れんげの かんむりだよ。

はい、プレゼント。」

のんちゃんは、りょうで れんげのかんむりを
もって はしって きました。

「おとうさん、わたし、ここ だいすき。きれいで
とっても たのしいもん。」

「そうだね。でもね、ここも ちよっとまえまでは
たんぼだったんだぞ。」

「じゃあ、いま どうして こんなに いっぱい
れんげが さいて いるの。」

のんちゃんは、びっくりして ききました。

「それはね、まちの ひとたち みんなが、もういちど
たんぼを れんげで いっぱいに したいと、
ずっと がんばって きたから なんだよ。」

おとうさんたちが こどもの ころは、このあたりの
たんぼは、どこも れんげで いっぱいだったんだ。

きれいだったし、たのしかったよ。」

「そうよ、だから、ここに くる ひとたちのために、おとうさんや

おかあさんも まちのひとと いっしょに、たねまきを したり

れんげの せわを したりして、いまでも がんばって いるのよ。

もっと みんなに よろこんで ほしくって、ひまわりや コスモスの
おはなばたけも つくって いるのよ。」



のんちゃんは、おとうさんと おかあさんの はなしを きいて、
れんげまつりが ますます だいすきに なりました。

れんげばたけで たべる おにぎりは、
さいこうの あじです。

「そうだ。きょうのこと、ともだちにも

おしえて あげようっと。こんど

コスモスが さいたら、また こようね。」

のんちゃんは ごじゅうのとうを

みながら かんがえました。

なんだか このまちって すてきだな。



1 主題名 ぼくのまち わたしのまち

2 主題設定の理由

(1) 内容項目について

中心とする内容項目は、C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度「我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつこと。」である。自分が生まれ育った郷土はその後の人生を送る上で心のよりどころとなるものであり、生きる上での精神的な支えとなるものである。郷土での様々な体験など積極的に主体的な関わりを通して、郷土を愛する心を育てていく必要がある。

そこで、自分が住む町の身近な自然や文化などに直接触れる機会を増やしたり、そこに携わる人々との触れ合いを深めたりすることで感じる「楽しかった。」という思いを大切に、郷土への愛着を深め、親しみをもって生活していこうとする態度を育てたい。

(2) 児童の実態について

この時期の児童は、近くの公園で遊んだり自然に親しんだりする中で、「楽しかった。」「うれしいな。」という気持ちになったことが誰しもある。また、地域の中での行事や祭りに参加し、みこしを担いだり、だんじりに乗ったりして、地域の人々との楽しい触れ合いも体験している。

しかし、自分の住んでいる地域のよさや、地域の人々が地域や地域の子どもを愛し、支えてくださっているということには気付いていないことが多い。

このような児童が、自分の体験を思い起こすことで、地域で活動する楽しさやよさに気付き、自分たちの地域での生活を、あたたかく見守り支えてくださっている地域の人々への親しみをもつことができるようにしたい。そして、郷土への愛着が一層深まっていくようにしていきたい。

(3) 教材について

「れんげまつり」は「昔のようなれんげ畑をもう一度復活させたい。」という地域の人々の熱い思いから始まった行事である。特に、町の青年団や市の商工観光課を中心にれんげの種まきや祭りの準備が進められてきた。主人公の両親もまた、この「れんげまつり」に一役買ってきた人たちである。

家族で「れんげまつり」にやってきた主人公は、五重の塔の周りのきれいなれんげ畑を見て、大喜びである。そして、れんげでたっぷり遊んだ主人公が、両親から「れんげまつり」への思いを聞き、友達にもれんげでいっぱい町のすてきなところを教えたい気持ちになったという話である。

中心場面として、友達にも教えたいと思う場面を取り上げ、自分の体験と重ねて考えることで、れんげまつりのすてきなところや地域の人々の気持ちに気付くようにする。そして、「れんげまつり」が大好きになり、この町をすてきだと思う主人公の気持ちに目を向け、自分たちの住んでいる町に親しみをもち、大切にしようとする態度を養いたい。

◇板書例

<p>○ちいきのすてきなところ</p> <p>◇れんげまつりのすてきなところは、れんげばたとそれをつくったひとたちだよ。</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ・れんげまつりはたのしいよ ・れんげでいっぱいのもちにするためにちいきの人ががんばったんだよ ・こんどいっしょにいこうよ 	 <p>ともだちにおしえたいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・れんげまつりはたのしいよ ・れんげでいっぱいのもちにするためにちいきの人ががんばったんだよ ・こんどいっしょにいこうよ 	 <p>おとうさんやおかあさんから はなしをきいたとき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おとうさんやおかあさん ががんばったんだな ・ちいきの人のおかげで たのしくあそべてうれしい ・ありがたうをいいたい 	 <p>れんげばたけであそんでいるとき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おはながいっぱい ・きれいだな ・なにをしてあそぼうかな 	<p>めあて れんげまつりのすてきなところを みつけよう。</p>	 <p>きれい あそびたいな れんげまつり だいすき</p>
--	--	--	--	---	---	---

◇参考

れんげまつり…総社市上林の吉備路れんげまつり。備中国分寺の周辺で行われる。

3 ねらい

「れんげまつり」のすてきなところを考える中で、れんげ畑の楽しさや地域の人々の思いを知って、自分たちの町への愛着が深まったことに気づき、自分も住んでいる地域や地域の人々に親しみをもとうとする態度を養う。

4 展開

○は基本発問 ◎は中心発問

学習活動	主な発問と児童の心の動き	指導上の留意点
1 れんげ畑について話し合う。	○ れんげ畑の写真を見てどんな感じがしますか。	・ れんげ畑の写真を見てれんげの美しさや楽しい経験を想起した後れんげまつりを紹介し、めあてを確認する。
「れんげまつり」のすてきなところをみつけよう。		
2 「れんげまつりだいすき」を読んで話し合う。	○ れんげ畑で遊んでいるのんちゃんはどうなことを考えているでしょう。 ・ わあ、お花がいっぱいだ。きれいだな。 ・ 何をして遊ぼうかな。 ○ お父さんやお母さんから「れんげ畑が前はただの田んぼだった」と聞いて、のんちゃんはどうなことを思ったでしょう。 ・ ただの田んぼだったなんて信じられない。 ・ お父さんやお母さんもがんばったんだな。 ・ 町の人みんなのおかげでこんなにきれいなんだ。楽しく遊べてうれしいな。 ◎ のんちゃんは友達にどんなことを教えたのでしょうか。 ・ 「れんげまつり」に行ったら、れんげがとってもきれいだったよ。 ・ 花束とかんむりを作って楽しかったよ。 ・ れんげ畑でお弁当を食べたらおいしかったよ。 ・ 今度一緒に行こうよ。 ・ れんげでいっぱい町にするために、町のみんなががんばってくれたからこんなに楽しくてきれいなんだよ。 ・ 楽しい「れんげまつり」があるこの町ってすてきだな。	・ 場面絵を見ながら話をさせることでわくわくする楽しそうな様子に共感できるようにする。 ・ 両親の言葉を聞いて、ただの田んぼだった所が、地域の人々のがんばりで、今はこんなに楽しくすてきな所になっていることへの主人公の驚きに共感できるようにする。 ・ まず、ペアで話をし、れんげ畑で遊んで楽しかった思いや今度一緒に来たいという気持ちを語らせる。その後、教師が相手になり役割演技をする中で考えの根拠を問い返し、体験と重ねて、れんげ畑の楽しさやれんげ畑の世話をしてきた地域の人をすてきだと思ふ気持ちに気付かせる。 ・ 主人公が「この町ってすてきだな」と思ったことを尋ね、れんげ畑がすてきだと思ふ気持ちから、「れんげまつり」のあるこの町をすてきだと思ふようになったことに気付かせる。
「れんげまつり」のすてきなところは、れんげばたけとそれをつくったひとたちだよ。こんなれんげまつりのあるまちってすてきだな。		
3 自分たちが住んでいるところのよさを話し合う。	○ みなさんが住んでいる町で、友達に教えてあげたいようなすてきなところがありますか。 ・ ○○公園で、虫がたくさん捕れるよ。 ・ いつも登下校のときに見守ってくれるおじさんがいるよ。	・ 生活科の学習や行事の写真を示し、自分たちの地域を思い起こすようにする。自分との関わりで、地域や地域の人々のすてきなところに気づき、地域が大好きという気持ちをもつことができるようにする。
4 地域のすてきなところの話を聞く。	○ みんなの住んでいる町にもすてきなところがたくさんありますね。	・ 地域のすてきなところに気付くことができるような話をする中で、地域に親しみ、好きになるように意欲を高める。
じぶんたちのまちにもすてきなところがあるよ。もっとすてきなところをみつけない。		
評価の観点	・ 「れんげまつり」のすてきなところやそれを支える地域の人々の思いに気付くことができたか。 ・ 自分の地域のすてきなところに気づき、地域に親しみをもとうとする意欲を高めることができたか。	

5 他教科等との関連

生活科の学習や地域の祭りなどの行事と関連させながら、地域のよさを見付け、地域に親しみをもつことができるようにする。